

計 報

当懇話会設立準備から長年に亘り会の運営を支えていただいた、副会長兼樋爪館遺跡案内人部会長の佐藤雄一様が5月2日に逝去されました。いつも和やかな笑顔で私たちを指導してくださった在りし日の元気な姿を偲びつつ心から哀悼の真を捧げ茲に謹んでお知らせ申し上げます。

なお、ご葬儀の際は会長が弔辞を奉呈し、会員一同で弔電により弔意を表しました。

—岩手県立博物館テーマ展『比爪—もう一つの平泉—』パンフレット15頁—

3 比爪—奥州藤原氏第二の拠点— ③ 外縁遺跡

《大瀬川B遺跡(花巻市石鳥谷町大瀬川)(1)》

昭和48年に東北自動車道建設に伴い発掘調査が行われました。円形の塚が3基連結する形で構築されており、12世紀代の常滑産三筋壺が出土したことから、奥州藤原氏の時代の経塚と判断されます。経塚は北西から南東に細長く伸びる丘陵の端部近くに構築されています。標高166mの尾根上に20m×15m程の楕円形の平地が造成されており、その上に東西に連なって3基の経塚が築かれています。西から1号、2号、3号の名称が付されています。塚は平均約3.5mの円形プランで、高さは60cm程の規模です。塚の表面には多数の礫が分布しています。

《《《 6月～7月行事予定のお知らせ 》》》

6月10日 (日曜日)	第20回 定期講演会 ※参加申込み 会員以外の方は 6月4日(月)までに 赤石公民館FAX 019-676-3999へ	時刻/午後2時から午後4時まで (受付開始時刻:午後1時30分) 会場/紫波町赤石公民館 JR日詰駅から徒歩5分 講師/川島茂裕氏 演題/樋爪氏の出自と奥州藤原氏 —樋爪俊衡の父は誰か— 参加料/500円(会員200円) 当日受付へ お問い合わせ/090-3125-3776 (高橋)
6月28日 (木曜日)	発掘調査現地見学	集合時刻/午後1時30分 現地集合 ※ 現地に駐車場所がないので、ご注意ください。 見学場所/南日詰大銀Ⅱ・城内Ⅰ遺跡 参加者/会員及び会員が同伴する方
7月18日 (水曜日)	第93回月例発表会	午後7時から午後9時まで ◎ 会員発表 発表者: 石幡 信 テーマ: 紫波郡の城館1 ◎ 歴史講談 出演者: おおむらさき (小笠原悦子) 演題: 中尊寺炎上・大水の舞 出演者: 和葉紫 (久慈和子) 演題: 北の方平氏の情念

【才土地遺跡発掘調査報告書】(1) <平成22年3月 紫波町教育委員会>

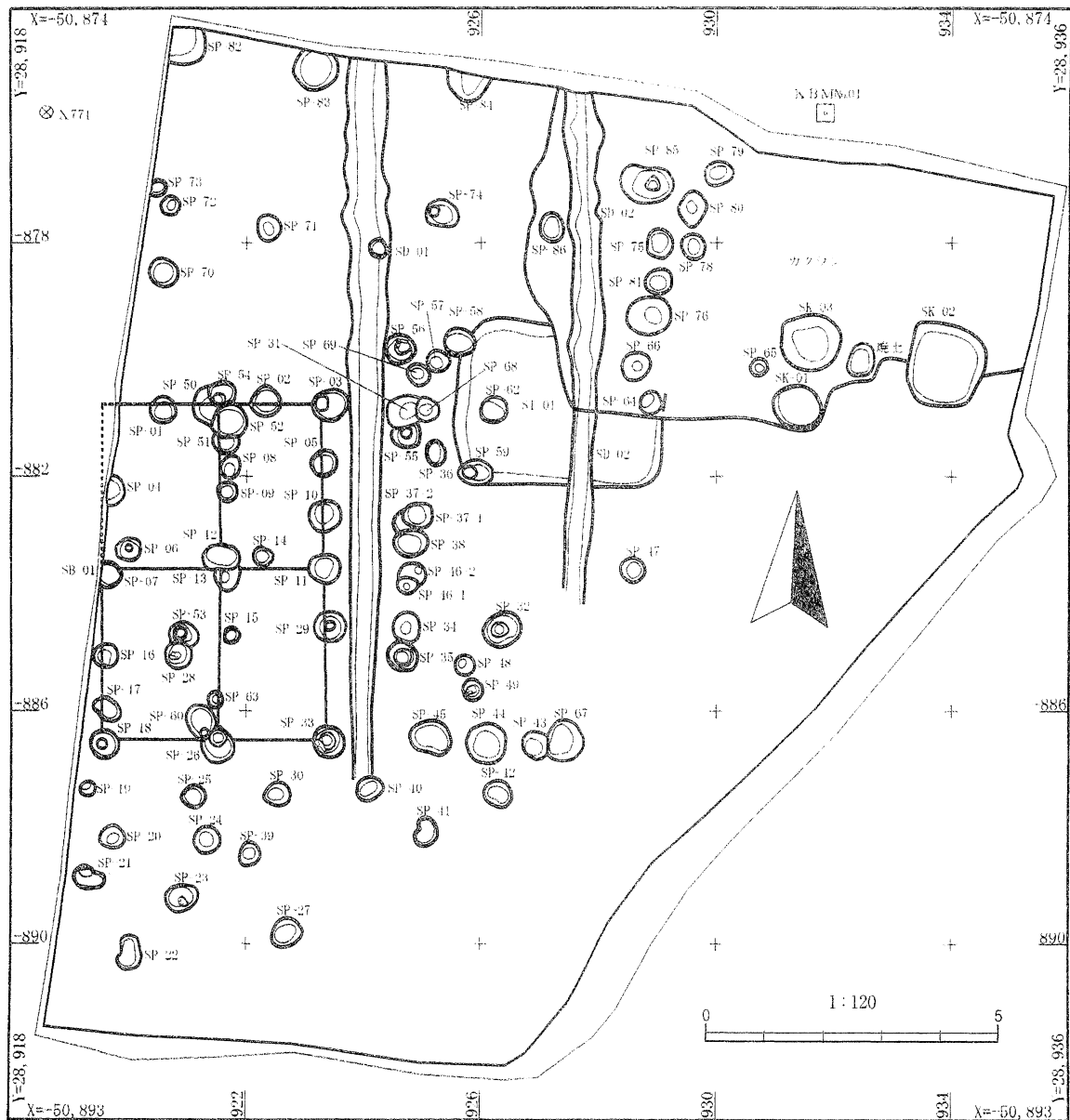
1 調査経過

平成19年9月14日、熊谷幸夫氏共同住宅建設に伴う試掘調査をした。45cmほどの現表土（耕作土）を除去したところ、地山土上の層にて遺構が検出されたため、原因者と協議し記録保存を行った後に工事を行うこととし。引続き発掘調査を行った。

本遺跡は紫波町のほぼ中央部、JR東北線紫波中央駅の南 500mほどに位置し、当該地は、岩手県遺跡台帳にコード LE67-2088「才土地遺跡」として記載され、過去の調査歴はなく、本調査は今回が第1次調査にあたる。

2 検出遺構と出土遺跡

今回の調査では、竪穴住居跡1棟、土坑跡3基、焼土遺構1基、溝跡2条、掘立柱建物跡1棟、柱穴跡86基を確認し、土師器坏を中心に土師器甕・須恵器・陶器・鉄製品などの遺物が出土した。



第2図 才土地遺跡遺構配置図

※ 調査区中央を南北に走る溝跡2条について、本報告書では「道路遺構に付属する側溝とも考えられるが、詳細については現時点では不明である。」としています。外が浜まで通っていたとされる奥大道ではないとしても、道幅約2間の規模から奥大道に並行する道路と推測できます。南方約1km先の樋爪館に通じる道路として考えると、樋爪館は少なくとも北へ1km以上の広がりを持つこととなります。東は近年の発掘調査で北上川畔にまで及ぶことが確認されてきました。南の南日詰遺跡等にも可能性がありますし、西側の発掘調査が行われることにより、樋爪館跡の全容が見えてくる日も近いと考えられます。（文責：高橋敬明）